

令和 5 年度あおりふるさと寄附金 寄附の状況・活用状況

令和 5 年度は、3,190 件 45,494,982 円 のご寄附をいただきました。ご寄附をいただいた皆さまにあらためて感謝申し上げます。

いただきました寄附金の使いみちごとの内訳は次のとおりです。

番号	使いみち	件数（件）	金額（円）
1	「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト	471	6,874,500
2	多様なしごと創出プロジェクト	94	1,484,000
3	「住みたいあおり」若者・女性プロジェクト	374	5,158,000
4	未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト	242	3,296,000
5	健康ライフ実現プロジェクト	59	840,000
6	東日本大震災からの復旧・復興対策	284	3,817,000
7	青の煌（きら）めきあおり国スポ・障スポの応援	27	396,000
8	県政一般	1,639	23,629,482
総計		3,190	45,494,982

※法人・団体からの寄附を含む

皆さまからお寄せいただいた寄附金は、次のような取組に活用させていただきました。

今後とも「ふるさと青森」へのあたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト

- ・ 県産品のブランド力向上を目指すとともに、消費者ニーズに対応した商品づくりに取り組みました。
- ・ D X（デジタル・トランスフォーメーション）の活用や国内外の E C（電子商取引）市場への参入促進・販路開拓に取り組みました。
- ・ 航空会社・旅行会社等とのネットワーク維持・強化を図り、路線の充実や周遊観光の促進に取り組みました。
- ・ 新たな観光スタイルに応じた観光マインドの磨き上げと、新型コロナウイルス感染症の感染状況に連動した段階的な誘客促進に取り組みました。

2 多様なしごと創出プロジェクト

- ・ デジタル分野等における新たなビジネスの創出と、デジタル・グリーン関連産業の戦略的な誘致に取り組みました。
- ・ 潜在的労働力の掘り起こしや求職者と企業とのマッチング、各産業分野における担い手確保に取り組みました。

- ・ D Xに対する経営者の意識改革や、農林水産業や建設業など、幅広い分野でのD X推進に取り組みました。

3 「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト

- ・ 本県で「暮らす」「働く」価値・魅力の発信や県内企業の採用力向上に取り組みました。
- ・ ライフスタイルに対応した多様な働き方を推進しました。
- ・ 新たな移住関心層の獲得や県外転出後も青森県とつながる仕組みづくりに取り組みました。
- ・ 魅力ある生活環境づくりや県内の文化・芸術の魅力発信と体験機会の創出に取り組みました。
- ・ 結婚したい男女の希望を叶えられるよう、結婚支援対策を実施しました。

4 未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

- ・ S D G s（持続可能な開発目標）の推進等を通じて、持続可能な地域づくりに取り組みました。
- ・ 社会的孤立や生活困窮等、支援が必要な方へのアウトリーチ策を強化しました。
- ・ 持続可能な地域公共ネットワークの構築に取り組みました。
- ・ 若者の参画促進、関係人口の創出・拡大など、地域活動の担い手の確保・育成に取り組みました。

5 健康ライフ実現プロジェクト

- ・ 地域や職域などで、県民の健康意識の向上と健康的な生活習慣の定着に取り組みました。
- ・ 減塩や食育の推進などによる食生活の改善や、運動習慣の定着に取り組みました。
- ・ 悩みを抱えた人の早期対応に向け、関係機関の情報共有や相談窓口の普及啓発を進めました。

6 東日本大震災からの復旧・復興対策

- ・ 東日本大震災の風化防止や震災復興に資する取組等について、岩手県、宮城県及び福島県並びに東京都と連携して情報発信しました。
- ・ 被災地の自然・文化を活用した産業振興と交流人口の拡大を図るため、被災自治体が連携して三陸ジオパークの取組を推進しました。

7 青の煌（きら）めきあおもり国スポ・障スポの応援

- 令和8年（2026年）に青森県で開催される「第80回国民スポーツ大会」及び「第25回全国障害者スポーツ大会」を支えるボランティアの確保や育成、来場者のおもてなし、選手の育成などに必要となる経費に活用しました。

8 県政一般

- ・ 県の重点施策に活用しました。

以上